



よもぞうくん

つうしん 通信

秋号



とても暑かった夏も少しずつ涼しくなり、過ごしやすい季節となりました。虫の声を聞きながら家族で絵本を読んでみるのはいかがでしょうか。射水市図書館には、絵本を含め児童書が約10万冊あります。きっとお気に入りの一冊が見つかるはず。選ぶときは、ぜひ「図書館司書が選ぶ推し絵本」を参考にしてください。



図書館司書が選ぶ 推し絵本



「語りかけ絵本 どんぐり」
文・絵 こがようこ
どんぐりの音を楽しんだり、お子さんを膝にのせてどんぐりになりきったりして遊べる絵本。



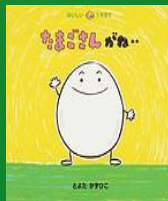
「でんしゃにのって」
文・絵 とよたかずひこ
うらちゃんがひとりで電車に乗っていると、駅に停車するたびワニさんやクマさんなどが乗車してきます。わくわくする絵本。



「びっくりまつぼっくり」
文 多田多恵子
公園に落ちていたまつぼっくり。あっちにコロ。こっちにコロ。拾って遊んでいると…。松ぼっくりを拾いに行きたくなる絵本。



「ふようどのふよこちゃん」
作 飯野和好
腐葉土は落ち葉の下で育った出来立ての土のこと。だから、ふようどちゃんはとってもいい匂い。今日も元気にお山を散歩します。山里の風景が懐かしくなる絵本。



「たまごさんがね・・・」
文・絵 とよたかずひこ
ぽとんと坂に落ちたたまごさん。ころころ転がって、あっ！ぐっしゃ～ん！！割れちゃった。たまごさんはどうなったかな。ご飯の時間が楽しくなる絵本。



「パパ、お月さまとって！」
作 エリック＝カール
お月さまと遊びたいモニカ。「パパ、お月さまとって！」パパは、長い長～いはしごを持つと山のとっぺんへ。はしごを立てて登り始めます。



「いもさいばん」
文 きむらゆういち
じいさんが一生懸命育てたお芋が盗まれた。芋泥棒を捕まえようとしいさん大奮闘。でも、捕まえた犯人から意外なことを言われて。みなさんは、だれが悪いと思いますか。



「バスが来ましたよ」
文 由美村嬉々
目が見えない男性が地元の小学生に助けられながら続けたバス通勤。やがて、その思いはほかの小学生に受け継がれていきます。実話をもとにした心温まる絵本。

下にいくほど対象年齢が上がります。

中央図書館・新湊図書館 開館時間 平日9:30～18:30 土・日・祝日9:30～17:00
正力図書館・下村図書館 休館日 毎週月曜・第一木曜日・祝日の次の日
毎月の各図書館からの詳細は、HP をご覧ください。